

令和4年度 第2回 千葉県県土整備公共事業評価審議会 審議結果一覧

No	所管課	事業名 路線又は箇所名等	事業概要	評価の理由	審議結果
1	道路整備課	社会資本整備総合交付金 (道路事業) 一般国道296号八千代バイパス	佐倉市域及び八千代市域の交通渋滞の緩和を図るため佐倉市上座から八千代市米本までの延長5.2kmのバイパス整備を行う。 ・総事業費 110億円 ・事業延長 5.2km	②	継続
2	道路整備課	公共街路整備 (街路事業) 都市計画道路3・3・1号 東習志野実籾線	交通の流れを阻害している踏切を除却し、交通の円滑化と歩行者の安全性の向上を図るため、習志野市の内陸部と京葉道路及び幕張新都心を結ぶ幹線道路の整備を行う。 ・総事業費 95億円 ・事業延長 607m	②	継続
3	道路整備課	公共街路整備 (街路事業) 東武野田線	踏切に起因する交通渋滞や事故の解消、市街地の一体化等、安全・安心のまちづくりや地域の活性化を図るため、東武野田線の清水公園駅から梅郷駅間の延長2.9kmを高架化を行う。 ・総事業費 405億円 ・事業延長 2.9km	②	継続
4	河川整備課	社会資本整備総合交付金 (河川事業) 二級河川栗山川水系栗山川	栗山川は、横芝駅周辺市街地を流下する、二級河川である。平成11年、平成16年及び平成25年に甚大な水害を受けたことから、治水安全度の向上を図るため、河川整備を実施する。 ・総事業費 147.7億円 ・事業延長 17.2km	②	継続
5	河川環境課	社会資本整備総合交付金 (河川事業) 一級河川利根川水系印旛沼	印旛沼は、千葉県の北西部に位置し、流域面積が541km ² の一級河川である。水資源開発・干拓による貯水池化と都市化の進展等に伴う汚濁負荷増大のため水質の悪化が顕著となったことから、河川環境整備を実施する。 ・総事業費 150億円 ・事業内容 植生帯造成L=12.1km 等	②	継続

【評価の理由】 ① 事前評価：事業の計画段階において、事業着手の必要性や妥当性を評価するもの。

② 再評価：事業採択後一定期間を経過した後も未着工である事業、事業採択後長期間が経過している事業の事業継続の必要性や妥当性を評価するもの。
※現在事業中で、新たに評価対象となるもの。
(国庫補助事業の採択を受けようとする、事業費増により40億円以上となるもの等)

③ 事後評価：事業完了後の事業の効果、環境への影響等の確認を行い、必要に応じて適切な改善措置を検討するとともに、事業評価の結果を今後実施する同種事業の計画等に反映させるもの。

○問合せ先

担当課	電話番号	備考
県土整備政策課	043-223-3121	審議会の運営に関すること
道路整備課	043-223-3171	道路事業・街路事業
河川整備課	043-223-3165	河川事業(栗山川)
河川環境課	043-223-3154	河川事業(印旛沼)